地域住民との連携による農空間保全

清児（せちご）地区農空間保全協議会（貝塚市）

○清児地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H27年度に清児地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【地区概要】

取組面積	15.48ha　[田11.81ha　畑3.67ha]
農業用施設	開水路 3.6km　パイプライン 0km 農道 0.4km　ため池 3箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会
交付金	427千円（R02）

活動開始前の状況や課題

○ 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、今後の持続的な農地・農業用施設管理が懸念されていた。

○ 集落内で不法投棄が発生する等、景観や生活環境の悪化が問題となっていた。

取組内容

○ 地域ぐるみの水路清掃活動や草刈りを交付金を活用して実施している。

○ 遊休化が懸念される農地でジャガイモ栽培やコスモス植栽を行い、地域住民を対象とした収穫体験や花摘み会を開催する等、地域住民との交流活動に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○ 交付金を活用した活動で地域共同活動がさらに盛んになったことで、営農意欲や遊休農地発生防止の機運が高まりつつある。
○ ジャガイモ掘り体験やコスモスの花摘み会等の交流活動への地域住民の関心や期待は大きく、多数の参加があることで協議会メンバーの励みにもなり、地域ぐるみの農空間保全が図られている。